

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

研究機関名： 〇〇大学
 代表者職名： 学長
 氏名： 〇〇 〇〇 [職印]
 機関番号：

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

交付内定後の研究代表者交替願

平成28年〇月〇日付で交付内定通知があった平成28年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（特別研究員奨励費）に係る下記の研究課題について、応募書類提出後に生じたやむを得ぬ事情により研究代表者を交替したうえで交付申請を行いたいので、これにより交付の決定をしてくださるようお願いいたします。

記

平成27年度以降採択者については
アルファベットありの形式「(例) 15F01234」。

1. 課題番号

2	6	・	0	1	2	3	4
---	---	---	---	---	---	---	---
2. 研究課題名 〇〇の△△研究
3. 研究代表者名 (所属部局・職) 大学院工学研究科・教授 〇〇 〇〇 (印)
4. 交付予定額

	800,000	円・・・①+②
うち直接経費	800,000	円・・・①
間接経費	0	円・・・②

押印すること。

5. 補助事業者及び役割分担

(1) 変更後

		補助事業者												役割分担					
代表・分担の区分	機関番号・部局番号・職番号										研究者番号								
	所属研究機関・部局・職										氏名								
研究代表者	1	2	3	4	5	8	8	5	2	7	0	0	3	4	5	6	7	8	研究計画の総括
	〇〇大学・大学院工学研究科・准教授										△△ △△								
研究分担者	〇〇大学・大学院工学研究科・外国人特別研究員										□□ □□		●●実験の実施・データ分析						

(2) 変更前

		補助事業者												役割分担					
代表・分担の区分	機関番号・部局番号・職番号										研究者番号								
	所属研究機関・部局・職										氏名								
研究代表者	1	2	3	4	5	8	8	5	2	0	0	0	2	3	4	5	6	7	研究計画の総括
	〇〇大学・大学院工学研究科・教授										〇〇 〇〇								
研究分担者	〇〇大学・大学院工学研究科・外国人特別研究員										□□ □□		●●実験の実施・データ分析						

6. 交替理由

平成28年3月31日付けで研究代表者が退職したため。(異動先：米国〇〇研究所)

新しく研究代表者となる△△△△は、〇〇〇〇と同じ研究分野であり、研究手法、研究計画などについて十分に熟知している。また、〇〇〇〇と研究の引き継ぎについても十分に行っている。今後、緊密に連絡を取り合い、研究を行っていく予定であり、研究代表者として適任である。なお、本人の承諾は得ている。

様式 A-9 「作成上の注意」

<対応事業> 特別研究員奨励費（外国人特別研究員のみ）

本様式は研究代表者の交替を行い、研究の継続を希望する場合に作成すること。

【注意事項】

- ① この交替願は、交付内定後から交付申請（決定）までの間に研究代表者を交替する場合にA4判で作成すること。
- ② 「課題番号」欄には、「内定一覧」に記載されている「課題番号」を十分確認のうえ記入すること。
- ③ 「研究代表者名（所属部局・職）」には、変更前の研究代表者名（所属部局・職）を記入すること。
研究代表者の氏名は、記名押印又は署名により記入すること。なお、研究代表者の印は、印肉を使用して押印するものとする。
- ④ 「交付予定額」には、当該研究課題の交付予定額を記入すること。なお、間接経費は、「0」とすること。
- ⑤ 「補助事業者及び役割分担」欄には、研究代表者は「機関番号・部局番号・職番号」、「所属研究機関・部局・職」、「研究者番号」、「氏名」並びに「役割分担」の具体的内容を、研究分担者は「所属研究機関・部局・職」、「氏名」並びに「役割分担」の具体的内容を、変更前、変更後の各補助事業者についてそれぞれ記入すること。
- ⑥ 「交替理由」には、研究代表者を交替する理由（事実発生日や変更前の研究代表者が辞職・異動する場合は異動先も可能な限り明記すること）及び研究代表者を交替しても、研究計画の遂行に支障がない理由及び新しい研究代表者になる者の研究代表者としての適格性等について記入すること。